

「技報」の発刊によせて

工学部・工学研究科技術部実施運営委員会

委員長丹羽文夫

「技報」と名前を改めて発刊するようになって早3年目を迎えます。今回の第3号の発刊は、工学部・工学研究科技術職員の目頃の技術支援ならびに諸業務における成果の技術報告と研修報告の一端を内外の多くの関係各位に知っていただく上で大変重要と存じます。

昨今、ますます技術職員の高度化・専門化が問われているおり、それぞれの専門技術分野はもとより、関連する幅広い技術においても更なるレベルアップが求められています。本年度の研修は、これらの点も鑑み、工学部共通業務課題研修として、工学部が急務かつ重要とする環境問題をキーワードに、排水・安全対策をテーマとして実施しました。環境に対する意識や関連する業務に積極果敢に挑む姿勢が養われ、有意義な成果があったと思います。専門研修としては、工学部の技術支援を進めるにあたり、業務が遂行出来る知識修得と技術力向上を目指し、各技術系からの要請に基づいて9つのテーマを選び実施しました。また新たに、日常の業務上で行われた試みや機器の設計製作等について、学外で発表を行った3つの技術発表を技術報告として掲載しました。

今年度はテーマを絞り、内容を高めるよう努力しました。本技報をご覧頂き評価していただければ幸いです。

前述のように、今後は修得すべき技術がますます高度化・専門化し、学内だけの研修・講習では不十分であると考え次第です。当該技術職員は、学外における各種実践研修会等に参加するとともに、向上意欲と強い意志を持って先進の高度な技術を身につけ、自身の業務に活かしていく姿勢が必要不可欠ではないでしょうか。

最後に、今年度の研修方針に沿って「技報」をまとめることが出来たのも、ひとえに工学研究科技術部部長、各評議員をはじめ、各教官・事務部など、関係各位のご尽力とご支援によるものと感謝申し上げます。